

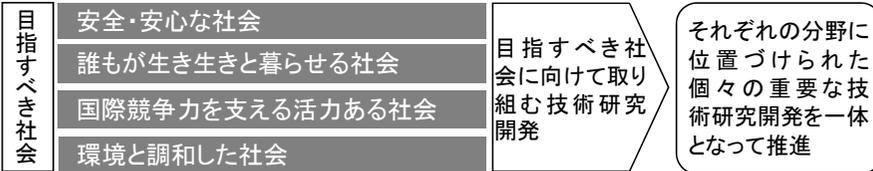
- ◇ 国土交通省技術基本計画は、第3期科学技術基本計画やイノベーション25等の各種の政府方針、社会資本整備重点計画や国土形成計画、国土交通分野イノベーション推進大綱等の国土交通省における様々な計画等を踏まえ、「社会的技術を推進し、成果を社会・国民に還元する」という技術研究開発の基本理念に基づき、作成したものである。
- ◇ 本計画は、平成20年度から24年度までの5カ年において国土交通省として必要な技術研究開発と、それを推進するための仕組み(技術研究開発システム)をとりまとめている。

国土交通省技術基本計画の全体像

目標 国民の暮らしへ還元する社会的技術を推進する。

1. 目指すべき社会を実現するための技術研究開発の明示

技術研究開発を進める上での3つの視点とともに重点的に取り組む技術研究開発を明示



【技術研究開発を進める上での3つの視点】

技術研究開発成果の社会への還元

○きめ細かい災害情報を国民一人ひとりに届けるとともに災害対応に役立つ情報通信システムの構築
○情報通信技術を用いた安全で効率的な道路交通システムの実現 等

イノベーション推進のための共通基盤の構築

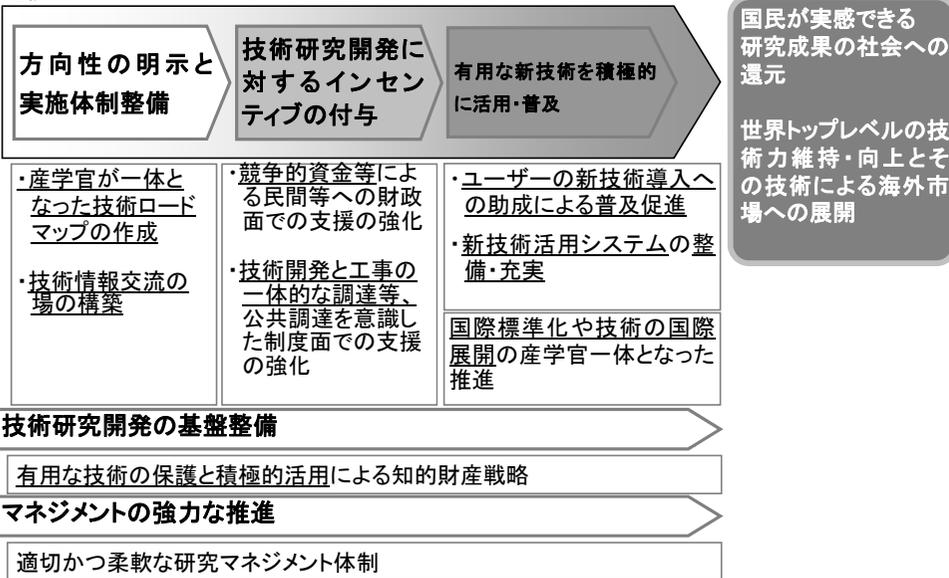
○様々な地理空間情報を相互に利用しあえる地理空間情報プラットフォーム等、新しい共通基盤の構築 等

環境・エネルギー技術等による国際貢献の推進

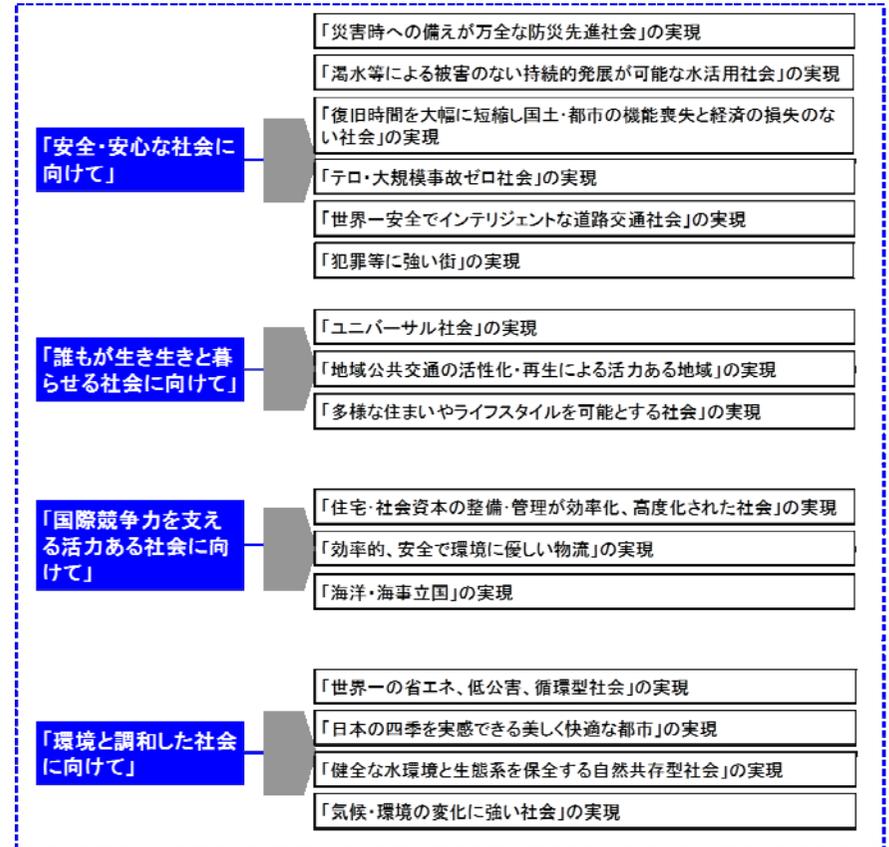
○世界トップレベルの環境・エネルギー技術の開発を推進し、その成果を積極的に提供することで世界の発展と繁栄に貢献 等

2. 技術研究開発を推進するための仕組みの構築

成果を確実に社会還元するための技術研究開発の着手から成果の活用・普及まで一体となった技術研究開発システムを構築



●目指すべき社会を実現するための技術研究開発



●技術研究開発システムの改革に向けた取り組み

主に国として重点的に取り組むべき6項目

1. 技術研究開発の実施体制の整備
2. 技術研究開発の支援
3. 技術研究開発の成果の普及
4. 国際的な技術戦略の構築
5. 技術研究開発の基盤整備
6. 技術研究開発のマネジメント